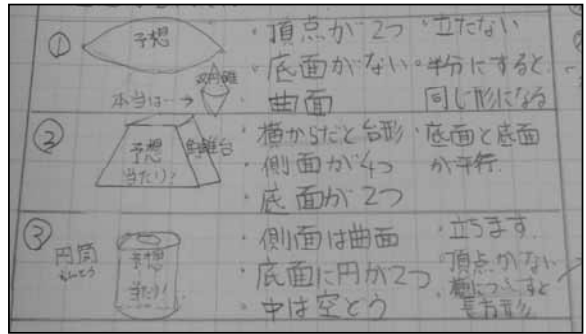




グループでの意見交換の様子



説明を聞いて見取図をかいた生徒のノート

T: この箱の中には、ある立体が入っています。今からAさんがこの立体がどういう立体なのか説明をしてくれます。みんなはこの箱の中にどんな立体が入っているかあててください。ただし、Aさんは立体の名前や身近にある立体「電柱」とか「ピラミッド」とかみんながすぐ分かってしまうような名前は使ってはいけません。では、お願いします。

A: この立体は**底面が2つあります**。

T: まだ、さすがに分からないね。次は？

A: **側面は長方形**です。  
それで、**側面の数は6個**です。

S: あっ、分かったかも！

T: じゃあもう1個くらい説明してみましょう。

A: えー、じゃあ**底面は六角形**です。

S: 分かった分かった！

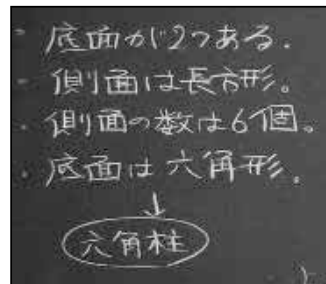
T: はい、じゃあみんなで。

S: 六角柱。

A: (箱から取り出して) これでした

T: この形は六角柱だね。A君の説明でみんな分かったね。ということで、今日は箱の中に入った立体の形を説明するというのをやります。今からグループごとにそれぞれ違う立体が入った箱を配るから、その立体の形を伝えられるように、説明を考えましょう。

< (1) の授業記録【生徒による説明・板書】 >



### 3 学習上の留意点

- ・箱の中の立体が他のグループから見えないように、箱の向きやグループ隊形を工夫する。
- ・立体そのものの名称や「電柱」、「ピラミッド」などの用語は使わずに説明をするように伝える。
- ・簡潔に立体の形を伝えられる説明を考えるように「立体の見方を工夫して、説明の回数を少なくできないか考えてみよう」と伝える。

### 4 学習の効果

- ・箱の中の立体の説明をするというゲーム性のある指導を行うため、意欲的に取り組むことができる。
- ・教科書では学習をしない立体を扱うことや説明の回数を少なく方法を考えることで、説明する力・立体を想像する力を向上させることができる。
- ・空間図形を具体的にイメージし、立体の特徴をつかむことができる。



活動の様子